

読み書き障害への 理解と支援

「夢見た自分を取り戻す」
成人当事者の挑戦から考える



読み書き障害（ディスレクシア）をご存知ですか？
文字が読めない、書けないことで困っている人たちがいます。
聞いたこと・見たことはわかるのに、そこに「文字」が加わると、とまどい、混乱してしまう…。

読んで理解し、書いて評価を受けることが前提の世の中で、
自信を失っている子どもたち、そして、不本意ながら学びをあきらめた人たちがいるのです。

彼らの抱える困難を、どう理解し、どう支えるか？
公立学校教諭として、成人当事者のご家族として、
読み書き障害のある人たちに向き合っている、井上賞子さんからお話をうかがいます。



講師 井上賞子

2019年（令和元年）

5月25日 土

14:00～16:15（開場13:30）

京都市北文化会館 ホール
定員 400名 参加無料

申込方法

裏面参照のうえ、
FAX、メール、電話でお申し込みください
手話通訳・要約筆記などの配慮が必要な方、
親子室の利用希望（定員あり・先着順）は、
お申し込み時にお伝えください

主催 問合せ先

京都市発達障害者支援センター
「かがやき」

電話 075-841-0375
月～金 9:00～12:00 / 13:00～17:00
（土日祝を除く、ただし5月1日・2日は受付いたします）